

01-02 九代林家正蔵 インタビュー

03-04 展覧会「Shinzi Katoh」 自作を語る

05-07 茂木大輔による、新シリーズ徹底解説!  
この漫画を読み! vol.4 モーツァルト

08 さくらぶんこ×折り紙コミュニケーション／今月のお客さま

09-10 INFORMATION

11 あの人たちが出会っちゃった! vol.4 日曜シネマ「光にふれる」

12 わたしレポート

13-14 突撃! PiPi提携ショップ『Ho'o pono pono』  
校歌は地域をうたうvol.13



生きてるのは  
満更悪くないって  
思わせてくれるのが  
落語なの



# 九代林家正蔵 襲名十周年 ますます芸欲、出てきてます

九代林家正蔵襲名十周年記念公演  
林家正蔵独演会

2/7(土) 14:00～ (開場は30分前)  
| 春日井市東部市民センター  
[チケット情報] PIPi会員電話先行予約12/7(日)～10(水)、インターネット先行予約12/11(木)～12(金)、一般発売12/14(日)  
[料金] ¥3,000、PIPi会員¥2,700  
全席指定、当日券同額、未就学児入場不可  
[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、東部市民センター窓口、電話&インターネット予約、チケットぴあ(Pコード440-485)、ローソンチケット(Lコード42976)



正蔵師匠に取材させていただいた場所は、初代・林家三平の資料館。三平師匠所縁の品々とともに、広間には高座が設けられています。毎月第3土曜に開催する「三平落語会」も大好評!(東京都台東区根岸2-10-12)

ジャズピアニスト  
山下洋輔さんから  
お祝いメッセージを頂きました!

正蔵師匠、襲名10周年おめでとうございます。師匠の、如何にも江戸前な嘸っぶり、ジャズ好きならではのものです(強引!)。あるいは、キリッと山葵の効いた、旨い蕎麦か。実は私の著書『蕎麦処山下庵』で対談させていただいた“蕎麦ともだち”でもあります。襲名記念パーティーではサプライズ演奏をさせていただきましたが、あれからもう10年ですか。これからも素晴らしい高座をお続けください!



木戸銭の向こう側  
スタッフ 武田里美の  
ちよっとお話を!

芝居やコンサートがお好きな正蔵師匠。嵐の日に電車を乗り継いで出掛けられたこともあるとか。観劇には、チケット購入や移動など木戸銭以上の時間と手間がかかる事を、師匠はよくご存知です。だからこそ高座に上がる時は「お客様を裏切らない」と肝に銘じているのだそう。一期一会、奇跡の一席をお見逃しなく。

## 土地柄、潮目でちょうどいい

——春日井は落語好きの方が多く、これは嬉しいですね。

愛知のお客様は耳が肥えていらっしやる。上方落語を好きな方も多し、志ん朝師匠が大須演芸場で江戸落語をしつかりされていきましたから。海で言えば潮目。江戸と上方の間でちょうどいい場所です。片意地を張らず、粋に目の前の一席を楽しむ文化があると思います。噺家にとって、やりがいのある土地ですね。

## 「バカだねえ」でも「粋だねえ」

——下町育ちの正蔵師匠ですが、ズバリ昔から変わらない、江戸っ子の良さは? 人を思いやる気持ちとか、先輩に対する尊敬の念は変わらなと思います。でもね、そういう思いを大っぴらに見せないのが江戸っ子。照れ屋なんです。ピートたけしさんやウチの親父の芸風はハチャメチャだなんて言われてますけど、「恥ずかしい」ってことを知っているから、優しさを押しつけないし、人一倍思いやりがある。こういう大人を見て育ったから真似したいなって思いますね。

## 正蔵師匠にとって、落語の魅力とは

——どんなところですか?

江戸落語は三味線を入れないし、派手な動きもあまり入れません。地味で儂い、淡い芸なんです。でも味付けは江戸らしく塩っ辛くて、キリッとしている。落語の中に出てくる人たちはちよっとおちよちよこちよいで、でもものすごく格好いい。粋なんです。私の好きな江戸小噺でこんなのがあります。

「今帰ったよ」  
「おかえり」  
「隣の家、芋食ってたよ」  
「米を買う金がないからね」  
「じゃあ、ウチの米持ってたてやれよ。隣は子供が二人もいるじゃねえか」  
「言われなくても持ってたよ。涙を流して喜んでたよ」  
「そうか。じゃあ、飯でも食おうか」  
「ないよ。全部持ってたちやったもの」  
「じゃあ、芋でも食うか」

おかみさんは人が良すぎるから、自分の家の米を残さず、全部隣家にあげちゃう。バカでしょ(笑)。それを亭主も叱らない。いいですよね。

落語に出てくる人の九割は困った事におつかりです。失敗したり、女房に逃げられたり。お金を落としたり、拾ったり。でも結局、何とかなる。実際の世の中そんなもんじゃないだろうけど、「生きてりゃあ、なんとかなる。生きてるのは満更悪くない」ってのが落語なんです。辛いことがあっても落語にしたら「バカだねえ」って、カラッとして笑い飛ばせる。そんな落語の魅力がみなさんに伝われば嬉しいです。

## 正蔵師匠がオススメする 落語を愉しむためのポイント

休日の昼間  
それも晴れた日が良い  
落語を聴いた後は、笑って帰りたいじゃないですか。だったら気持ちのいい、晴れた日が良い。春日井公演は土曜日の昼間ですよ。きつと晴れますよ!

事前の勉強は、ほどほどに  
最近CDなどで先代の名人芸を聴けますが、高座は生もの。噺家やお客様の調子、会場の雰囲気でも変わります。まっさらな気持ちでお越しください。

落語の後に行く  
美味しい店をリサーチ  
落語ってのは、ハレのものでね。だったら美味しいものは外せない。落語で笑ったあとに、旨い蕎麦なんか、ちよっと食べたいよね。

## 独演会ならではの! 正蔵ベスト版

——来年三月に正蔵を襲名して十年、噺家としても三十五年を迎えられますね。

十五歳で噺家になって、もう五十歳ですからね。特にここ数年は“芸欲”の勢いが増しています。代々の林家正蔵が高座に掛けてきた古典も、やり方を変えてみたり、人から指摘をいただいて「なるほど、そうだ」と思ったら、すぐに直して掛けたいですね。

自分から正蔵になりたいと手を挙げたわけではなく、流れでなりましたが、良い高座を務めたいという欲はいっぱい出てきて困っちゃう。面白いですね。今がちょうど面白い。

実はね、春日井で掛ける噺を既に選んでいるんです。「へえ、正蔵はこれやるんだ」と唸る、とっておきの噺を独演会ですから、自分の好きな流れで組み立てられる。今、これを聴いていただきたいという、九代林家正蔵ベストを揃えますんで、楽しみにしてくださいね。

取材 | 十月二十七日 @ ねぎし三平堂  
テキスト | スタッフ 武田里美  
写真 | スタッフ 後藤友介



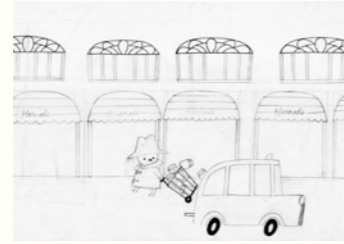
英国の高級デパート『ハロッズ』から依頼を受け  
イギリスの国民的キャラクター『パディントンベア™』をアレンジすると…。



### 〈Paddington Bear™〉

クライアント(企業)から「うちのキャラクターをアレンジして欲しい」という依頼があります。つまり、僕とコラボレーションすることで売れるものにしたいということです。そんな時まずやることは、自分の我は捨てて、「そのキャラクターを、消費者の欲しいポジションに置く」という作業です。ただ可愛く描くだけなら他の人でもできる。でも僕は、そうならないギリギリのところまで崩してデザインする。そのバランス感覚が独特だと言われますね。パディントンベア™には、いろんな場所でいろんなポーズを取らせて、旅をさせています。

鉛筆などでデッサンされた下書きを元に、パソコンを使って描かれるキャラクターたち。色が付けられ、命が宿ります。



さらなる創作意欲が湧く氏の、  
今ももっとも情熱を傾ける『浮世絵風』の絵画



### 〈夢中〉

浮世絵は面白いね。狩野派も長谷川等伯も好き。これからは写楽の大首絵とか、横山大観の朦朧体みたいな絵にも挑戦したいです。ただ、この絵の目とかね、変でしょ(笑)。空想の世界です。浮世絵にしてもデザインと同じように「今まで人が描いたことのないような絵を描きたい」という気持ちが根底にあります。そして多くの人が楽しいと思えるものが良いと思う。しばらくは浮世絵風の絵画を描いていきますが、飽きっぽい性格なので雑貨デザインも同軸でやります。興味が色々飛びますが、お互いに良い効果を生んでいますね。



PiPi  
by Shinzi Katoh

当財団のイメージキャラクター PiPiを、アレンジしていただきました! 欧州人に「色彩感覚がヨーロッパ的」だと言われるShinzi Katoh. 独特の色使いで、新しいPiPiになりました。

### 見る人がうれしくなる絵の世界

Shinzi先生の世界観は、雑貨も絵画もハッピーでキュート! 今まで見たことのないような和風の女性像も、独特の雰囲気があり魅力的です。数々の作品からは、好奇心旺盛で楽しいことが大好きな先生の、人間性を見て取ることができます。華やかで楽しい作品たちが、真っ白なギャラリーを彩ってくれています。お楽しみに!

スタッフ  
松山由佳の  
ちよっと言わせて!



## Shinzi Katoh®

世界に愛される雑貨デザイナー・アーティスト

~12/25(木) 10:00~17:00(入場30分前まで)

月曜休館(祝日の場合は翌平日) | 文化フォーラム春日井・ギャラリー

[料金] ¥500、ペア券¥800、小中学生・PiPi会員¥300

※障がい者手帳を持参の方とその介助者1名無料

[後援] 春日井市、春日井市教育委員会 [助成] 公益財団法人せとしん地域振興協力基金

★Shinzi Katohの雑貨を並べた特設ミュージアムショップも展開中!

雑貨デザイナー×アーティスト

# Shinzi Katoh®

が自らの作品を語ります!



雑貨デザイナーとして10,000点にも及ぶ作品を生み出し、世界中にファンを持つ Shinzi Katoh. 本展覧会では、「難しい芸術ではなく、“なんか好きだな”と自然に思える作品を作りたい」と語る氏の絵画作品が、数多く並んでいます。デザイナーとして「他と同じものではウケない」という考えを持つ氏の絵画は、やはり他では見たことのない独特の世界観を持っています。春日井を拠点に創作活動をする作家本人に、出品作のみどころについてお話しいただきました。

取材=10月30日@Shinzi Katoh Design アトリエ テキスト=スタッフ 後藤友介

「昔ばなしって結構残酷。でも僕は、最後は“シェイクハンド”な世界を描きたい」  
そんな氏の描く『赤ずきん』は、オオカミとも仲良し!?



### 〈赤ずきん 森の中〉

赤ずきんとオオカミの、微妙な距離感がポイントです。赤ずきんはオオカミに気付かない振りをして、近づいてきたらイタズラしてやろうと考えている。オオカミは叩かれるんじゃないかと、距離を置いて歩いている…。立場が逆でしょ(笑)。誰も考えない世界だね。形も大きさも同じ10本の木を整然と配置しています。こうすることでデザイン性が生まれる。これが遠近法を使って描くと、ただの絵画になっちゃうんです。このバランス感覚が僕ら好きだと思います。

### 〈赤ずきん まずはお茶から〉

ナイフとフォークを持つオオカミは、赤ずきんを食べないんですね(笑)。赤ずきんが食事を用意してあげるという、ハッピーなストーリーです。僕の中では、赤ずきんを食べるなんて、とんでもないこと。ジョアン・ミロを思わせる抽象絵画とデザイン性のある木や鳥。このミックスが面白いんです。



### 〈赤ずきん CAGE〉

僕のオリジナルキャラクターを、いたずらっ子の赤ずきんが閉じ込めてしまいました。隙間だらけだから、逃げられるんだけどね。なぜ閉じ込められているか? うーん、なんとなくこういう絵が楽しいかなって(笑)。僕は気まぐれなんです。でも自分が楽しく描けなかったら、作品もつまらなくなりますよ。



制作現場の話を直接聞ける  
関連イベントを開催!

- ①「Shinzi Katohに聞いてみよう!」11/29(土) 13:00~ @文化フォーラム春日井・会議室
  - ②「Shinzi Katoh Design スタッフのスタジオ秘話」12/25(木) 15:00~ @文化フォーラム春日井・ギャラリー
- ※参加無料、事前申込不要(①は先着80名、②は要展覧会入場料)



茂木大輔の  
徹底解説!

# モーツァルトが春日井に連れてくる春の日イイネ



テキスト 茂木大輔

NHK交響楽団の首席オーボエ奏者で『のだめカンタービレ』の音楽会でもお馴染み、茂木大輔の新企画がスタート!

二〇一五年新春、モーツァルトの作品ばかりを演奏するコンサートを二回連続で開催します。オーボエと指揮、自分の持つ二つの表現方法で、最愛のモーツァルトをお伝えできることが本当に幸せです。ご期待ください!

オペラ『魔笛』を室内楽で味わう  
バレンタインの特別企画  
まず、二月十四日に春日井市東部市民センターで行う室内楽『モーツァルトイック・バレンタイン』。オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴットそ

れぞれ二本ずつにコントラバスを加えた編成(「ハルモニウムジーク」と呼ばれています)の、「木管九重奏」をお届けします。

「ハルモニウムジーク」は、モーツァルト時代の貴族たちが自分の邸宅(主に屋外での祝宴など)で、音楽を楽しむために雇っていた小さな楽団です。宴会の伴奏であるセレナーデ(夜会曲)、ディヴェルティメント(嬉遊曲)などが多数書かれたほか、当時のヒット曲であるオペラの編曲が膨大な数、残されています。

今回は、もともと親しみやすいメロディと、バレンタインデーにふさわしい可憐な恋のエピソードがいくつかの、オペラ『魔笛』抜粋ほかをお届けします。メンバーは、N響から僕を含めたオーボエ二名のほか、名古屋のオーケストラの名手たちが集まってくださることに。非常に楽しい合同演奏です。

大作曲家の大傑作をオーケストラで堪能。『のだめカンタービレ』の音楽会「チームと作る新シリーズ」

その一ヶ月後の三月には、春日井で新しいオーケストラ・コンサートのシリーズ『天作曲家の大傑作』が始まります。ここでは、企画とお話、指揮を担当します。

春日井市民会館は、漫画『のだめカンタービレ』を全国に先駆けて音楽会として企画したホール。僕は原作者・二ノ宮先生とファンとして知り合いであったことから、その公演の指揮や選曲を担当しました。このコンサートは大ヒットして、すでに全国で七十五公演以上、十一万人を動員しています。このすべてに、さすがに市民文化財団のスタッフが同行し、企画と投影を担当してくれています。これまでの共同作業を通じ、がちりチームワークができた春日井市民会館で、クラシックの名曲をより深く楽しんで頂こうというコンサートです。

## 映像投影つきコンサートの魅力

演奏と一緒に、解説と映像投影を見ることで、コンサートの感動が数倍に! 音楽を聴くときに、何かワンポイントでも曲、楽器、奏者、作曲家やその時代についての知識があると、感動は大きく膨らみます。演奏者の笑顔や真剣なハーサル写真は、オーケストラがたくさん人間の集団であることを実感させてくれます。この解説や映像投影は、「のだめ音楽会」で実現し、クラシック音楽を初めて生演奏で聴くような、漫画『のだめ』ファンのお客様にも大好評でした。そして今、10年間に及ぶ音楽会を通じて、「のだめ」に出てこない曲でも、こういう方法で親んでもらえるコンサートができないだろうか? という夢が芽生えるようになりました。基本は、誰でも楽しめる、聴いただけで嬉しい選曲。それに加えて、初心者にもマニアにも解りやすい、感動を数倍にするような解説と投影。1年に1回のペース...などのアイデアが生まれ、タイトルは「天作曲家の大傑作」という壮大なものとなりました(笑)。



茂木大輔の映像解説付きコンサートで堪能する

# モーツァルト

誰でもご存知の大作曲家の名曲が並ぶこのコンサートシリーズ。第1回は、『モーツァルト特集』にいたしました。まずは一人でも多くのお客様に生で聴いて頂きたい。そしてシリーズのファンになって頂きたい。そのためには、最も人気ある作曲家、軽やかで美しく豊かな旋律に溢れながらも、どこか哀しみをたたえたモーツァルトが相応しいと思ったからです。これから、ベートーヴェン、チャイコフスキー、ブラームス、ヨハン・シュトラウス、ドボルジャーク、ラヴェルなど、音楽史に残る大作曲家の有名曲をご紹介します。本当にワクワクして楽しみでなりません。ぜひ第1回からお越しになって、一緒に楽しんでください。



## モーツァルト、三つの間違い伝説



モーツァルトは非常に人気のある作曲家で、作品の素晴らしさに加え、「神童」として世界中を回った少年時代、晩年貧困にあえいだこと、非常に短命であったことなどから様々なイメージが掻き立てられ、それ故にいろいろな都市伝説(?)も作られてきたのですが、その中には間違いも含まれています。そんな「三つの間違い伝説」をご紹介します!

### 1 「モーツァルトはスカトロ?」

は間違い



モーツァルトが従姉妹に宛てた手紙には、ウ●コやお●りなどの言葉が沢山並べられていて、それ故に「モーツァルトがスカトロ(変態)であった」という説が強いのです

### 2 「モーツァルトはフルートが嫌い」

は間違い



が、これは間違いだそうです。十八世紀当時、親しい間柄の書簡には、親しみの表現として、こうした下ネタが書かれることが一般的でした。小さい子供がそういう話をしてきゃっきゃと笑う、笑わせる感覚だったのでしょう。

「音程の悪い楽器のために作曲している」と、頭が痛くなってきます」と、父親宛の手紙に一行書いたために、「モーツァルトはフルート嫌い」と言われ続けてきましたが、この手紙を書いたときには、アマチュアのお金持ちのために短期間に沢山のフルート音楽を書かねばならず、これは楽器というよりそのアマチュアさんの下手くそぶりにイライラしていたのではないかと思います。そのときに作曲したフルート協奏曲も名曲ですが、その後のオーケストラ作品でのフルート・ソロも、本当に美しいものばかりです。

### 3 「モーツァルトは天才だから超多作」は間違い

は間違い



三十五年の短い生涯で、ケツヘル番号(年代順にモーツァルト作品を整理した番号)のついたものだけで六百曲以上が残されています。これを見て「モーツァルトは特別に早書きで、作品数が圧倒的に多い」と言われることがよくありますが、これも間違いです。バッハ(千曲以上とも言われる)、ハイドン(交響曲だけで百六)、ヴィヴァルディ、テレマンなどバロック時代から宮廷音楽の時代を生きた作曲家たちは、文字通り毎週数曲というペースで作曲し、受難曲やミサ曲など大規模な教会音楽やオペラでさえ、年間数曲も書いていたのが普通でした。

ベートーヴェン(百三十曲くらい)以降、作品はより丹念に書かれるようになり、創作数は減りましたが、このシリーズでは、そういうお話しても交えていきたいですね。





さくらぶんこに飾られた、折り紙作品の数々に圧倒!



イラストソフトを駆使して作った、折り方説明書



作った折り紙にデコレーション。人形劇のスタート!

### 第17回 かすがい人形劇フェスティバル

12/14(日)午前の部10:00~  
午後の部14:00~

| 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール、交流アトリウム

[料金] おとな 各回¥1,000(当日¥1,200)、一日券¥1,700 子ども 各回¥500(当日¥600)、一日券¥800

PiPi会員は1割引 全自由席、3歳未満無料、子ども券は3歳以上小学生以下

[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ(窓口販売)、ローソンチケット(Lコード42415)

[問合せ] さくらぶんこ TEL&FAX: 0568-91-8152、人形劇団パン

TEL&FAX: 052-781-7412

[主催] 愛知県人形劇協会 / かすがい人形劇フェスティバル実行委員会

[共催] かすがい市民文化財団

[後援] 春日井市 / 春日井市教育委員会



おばあちゃんのお家に遊びにいで

## さくらぶんこ×折り紙コミュニケーション 人形劇フェスティバル「作って遊ぼうコーナー」

今年で十七回目を迎える「かすがい人形劇フェスティバル」。人形劇を一日たっぷり楽しめるあつて、毎年多くの家族連れで賑わいます。出演する人形劇団は全九組でそれぞれ違ったテイストの人形劇を繰り広げます。この人形劇フェスティバルでは、参加無料の「作って遊ぼうコーナー」も楽しみの一つ。毎年折り紙体験の講師を務める丹羽兎子さんにお話を伺いました。

今年で十七回目を迎える「かすがい人形劇フェスティバル」。人形劇を一日たっぷり楽しめるあつて、毎年多くの家族連れで賑わいます。出演する人形劇団は全九組でそれぞれ違ったテイストの人形劇を繰り広げます。この人形劇フェスティバルでは、参加無料の「作って遊ぼうコーナー」も楽しみの一つ。毎年折り紙体験の講師を務める丹羽兎子さんにお話を伺いました。

取材 | 十月二十八日 @ さくらぶんこ  
テキスト・写真 | スタッフ 後藤友介

### 茂木大輔の映像解説付き2大コンサート



室内楽

茂木大輔 (N響首席オーボエ)



安土真弓 (名フィル首席ホルン)



オーケストラ

茂木大輔 (指揮・解説)



名古屋フィルハーモニー交響楽団

### ニュータウンさずな事業 どんぐり芸術文化劇場 モーツァルトティック・バレンタイン

[出演] 木管9重奏 (茂木大輔 (N響首席オーボエ)、安土真弓 (名フィル首席ホルン) ほか) [プログラム] 管楽セレナーデ 変ホ長調、歌劇「魔笛」管楽9重奏版 (編曲: ヨゼフ・ハイデンライヒ)

2/14(土) 15:00~ (開場は30分前)

| 春日井市東部市民センター

[料金] 一般¥2,000、学生¥1,200 (小学生~高校生)

PiPi会員は一般のみ上記金額の¥300円引き、団体割引あり

全席指定、当日券同額、未就学児入場不可

[2公演共通] [チケット情報] PiPi会員電話先行予約12/6(土)~10(水)、インターネット予約12/13(土)~14(日)、一般発売12/21(日) ~ [取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、東部市民センター、電話&インターネット予約、チケットぴあ (モーツァルトティック・バレンタイン: Pコード248-565 / 大作曲家の大傑作: Pコード248-568) **★2公演ご購入の方には、ウィーン直送モーツァルトグッズをプレゼント!**

小松淳子の **COMIC×MUSIC** この漫画を読め! vol.4 / モーツァルト 選・テキスト=スタッフ 小松 淳子

モーツァルトが生きた時代の、歴史の側面 イノサン ©坂本真一/集英社

十八世紀のバリエで死刑執行人の家に生まれた、第四代当主シヤルル・アンリ・サンソン。ルイ十六世の首をはねた彼の、処刑人として生きてゆく葛藤と理想が描かれていきます。拷問や処刑という血みどろなシーンも多いのですが、何故か血生臭さをそれほど感じさせない、グロさを超越する圧倒的かつ独特な美意識が作品全体を覆っています。そんな中、五巻では、宮殿での御前演奏で、六歳のモーツァルトがマリ・アントワネットに求婚したという有名なエピソードが描かれます。華

コンサート前には是非もう一読を、のだめカンタービレ ©二ノ宮知子/講談社

クラシック漫画と言えはやはり外せない「のだめカンタービレ」。特に、モーツァルトは、十五巻でのだめがモーツァルト・マニアの当主がいるブノワ家に招かれ、リサイタルを行うエピソードで登場します。当主が語るモーツァルトのうんちくも楽しい巻です。また、二十四・二十五巻ではオペラ「魔笛」が登場。指揮をすることになった千秋の奮闘が描かれます。読めば「魔笛」のストーリーが全てわかるので、二月十四日の茂木さんのコンサートの前には読んでいくと、より一層楽しめますよ。



私にとってはバイブルのような作品。何度読んでも、音楽の素晴らしさを知ることができます。



濃密に描かれる生と死とエロス。どのコマを切り取っても美しい、精密な描写に驚嘆!

やかなルイ王朝の影で行われる、当時の人々にとって見せ物であり娯楽であった処刑。モーツァルトが生きた時代の、歴史の側面に光を当てた、今注目の作品です。

北海道札幌市より 札幌芸術の森美術館 館長の佐藤友哉さん



『四神の書』展を拝見しました。書のような伝統美術を紹介するには作品の扱いなどご苦労も多かったかと思いますが、しかし素晴らしい展示でした。現代の書を目指した4書家の熱気が伝わります。さすが「書のまち春日井」ですね。



広島県より 岩崎K1さん

昔から桑島さんのファンです。前節で「チェックメイト」の振りをしてもらいました(笑)。嬉しかった!名古屋に友人がいるので、またゆっくり春日井も回ってみたいです。



千葉県浦安市より 土田浩司さん

他の地方公演に比べて、会場全体が柔らかな雰囲気でした。サボテンが有名なんですね。また違う時期に観光で訪れたいです。

### 今月のお客さま

vol.2

文化フォーラム春日井や春日井市民会館には、いろいろな土地からいろいろなお客様がいらっしゃいます。



塔本シスコ展 ～子どもの心を持ったおばあちゃん画家～



塔本シスコ展担当  
=小笠原聖晃

シスコの絵は、彼女の人生そのもの。大胆な構図でありながら、写実的に描きこまれた作品は真実味にあふれ、まるで生きているかのようです。シスコの絵を通して、シスコの“生”に触れてみてください。

2/14(土)～3/29(日) 10:00～17:00 月曜休館  
@文化フォーラム春日井・ギャラリー  
[料金] ¥300(中学生以下・65歳以上・障がい者手帳を持参の方とその介助者1名は無料) [取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ

中京テレビ開局45周年記念 朗読ライブ  
～後世に伝えたいすばらしき民話・童話の世界～



司会進行 中京テレビアナウンサー 恩田千佐子  
ゲスト スギちゃん

炉端や縁側などで、親から子に読み聞かせてきた民話。そんな地域社会の財産を次の世代に継ぎたいと、アナウンサーや地元タレント・役者が朗読会を開催します。民話にまつわる伝統芸能もお楽しみに!

2/8(日) 15:00～(開場は30分前) @春日井市民会館  
[チケット情報] 1/23(金)までに、往復ハガキまたはHPから申込(応募多数の場合は抽選) [料金] 無料 詳細は「中京テレビ朗読ライブ」検索  
[主催・問合せ] 中京テレビ放送(☎052-839-2313)  
[後援] 春日井市、春日井市教育委員会 [協力] かがい市民文化財団

第16回自分史フェスタ



©2013 PHILOMENA LEE LIMITED, PATHE PRODUCTIONS LIMITED, BRITISH FILM INSTITUTE AND BRITISH BROADCASTING CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED

2/15(日) @文化フォーラム春日井・視聴覚ホール、会議室、文化活動室、自分史センター

講座「1日体験講座エッセイ編」 10:30～12:00  
「1日体験講座自分史・文章術入門編」 13:30～15:00  
「司法書士が指南! ファミリーヒストリーを探ろう」 10:00～11:30 (各講座とも要申込・各¥500)

自分史なんでも相談 10:00～15:45(1コマ45分・要申込・受講料¥100)  
映画「あなたを抱きしめる日まで」 ①10:15～②13:45～③16:45～  
[チケット情報] 一般発売11/29(土) [料金] ¥900(当日¥1,000)、ペア¥1,700(当日¥1,900) PiPi会員¥800、ペア¥1,500(ともに当日同額) 全自由席、上映時間指定、3歳以上有料 [取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話予約



自分史担当=横谷朋子

自分史への第一歩  
「ルーツを探る」

「自分史って自叙伝? 難しい!」と思われるがちですが、超大作を書かなくても大丈夫。昔の思い出や日々の雑感などを記すのも自分史。まずはフェスタに参加して、自分のルーツを探ることから始めてみませんか?

Shinzi Katoh 世界に愛される雑貨デザイナー・アーティスト  
展覧会関連企画

raffinato noce モビールアート展

「こんな大きなモビール作るの初めて」と、悩みながらも完璧な模型まで作る、クリエーターユニットraffinato noce。関連イベント「モビールを作ろう!」では講師も務めます。



～12/25(木)  
@交流アトリウム・Shift Cube(無料)

★ワークショップ開催!  
Shinzi Katohのキャラクターモビールを作ろう!  
12/13(土) 11:00～15:00  
※当日先着30名、参加費¥500  
講師: raffinato noce



Shift Cube担当=林美智子

友の会PiPi優待企画  
映画 中村勘三郎

勘三郎は死なない…  
心が受け継がれているから

春日井での上演30回を数える歌舞伎公演。中でも平成18年の中村勘三郎襲名披露の感動は、忘れ難い思い出です。平成という時代を傾(かぶ)き続けてきた勘三郎さん。その偉業を自身の言葉で紡ぐ本作品は、“生きる意味”を教えてください。PiPi会員本人一名様は無料招待! もう一度、勘三郎さんに会いに行きませんか?



友の会PiPi担当=後藤友介



PiPi会員ご本人  
1名様  
無料招待!

[監督] 松木創 [出演] 中村勘三郎 ほか 2013年/日本/95分

2/11(水・祝) ①10:30～②14:00～(開場は30分前)  
@春日井市民会館  
[チケット情報] 一般発売12/10(水) [料金] ¥1,500(PiPi会員ご本人1名様は無料招待) 全自由席、当日券同額、未就学児入場不可 [取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、東部市民センター窓口、電話予約

ミュージカル  
クリスマス・キャロル

クリスマスらしい華やかな舞台を  
絶好のタイミングで!

美味しいものは「旬」に頂くのが一番ですね。実は舞台にも「旬」があります。それがクリスマス直前に開催する本ミュージカル。主演は草刈正雄さん。重厚感のある物語に新たなシーンが加えられ、原作ファンでも新鮮な感動を味わえます。もちろんデートにもおススメ! 今年の観劇納めに相応しい最高のミュージカルを、最高の時期にご賞味ください。



ミュージカル担当=武田里美



12/23(火・祝) 18:30～(開場は30分前) @春日井市民会館  
[料金] おとな¥4,500、子ども(4歳～中学生)¥2,500 PiPi会員は左記金額の¥500引き 全席指定、当日券同額、4歳未満入場不可 [取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話&インターネット予約、チケットぴあ(Pコード439-116)、ローソンチケット(Lコード41947) [後援] 春日井市教育委員会

以前からご要望を頂いていた託児サービスを、今公演ではご用意いたしました。詳細については、お問合せください。

セントラル愛知交響楽団ニューイヤーコンサート  
ゼーンぶジブリ!!

1/11(日) 14:00～(開場は45分前)  
@春日井市東部市民センター  
プログラム

- 崖の上のポニョより テーマ
- 耳をすませばより カントリーロード
- 借りぐらしのアリエッティ メドレー
- となりのトトロ ほか

[料金] おとな¥1,200、子ども(3歳～小学生)¥800 PiPi会員は上記金額の¥100引き 全席指定、当日券同額、3歳未満入場不可 [取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、東部市民センター、電話&インターネット予約、チケットぴあ(Pコード243-820)



小さな音でも、途切れないように持続しよう!

石川もも

〈上級〉ほら貝

30cmの長さの紙を細長く丸め、口当ての部分に補強用の紙を付けます。プイッと吹きます。



これは、金管楽器のようになって吹くのがコツ

加野百々子



コンサート後は帽子にも使えるよ～。ウンです(笑)

出口美佐



ストローは軽く噛むようにして、吹いてみてね!

萩智太郎

〈中級〉ストロー笛

扇形に切った紙を円錐状に丸め、曲がるストローを付けます。プイッと吹きます。



持ち手はノリでしっかりと接着しよう!

宮崎真央

〈初級〉ムチ

40cmの長さの紙を2枚重ね、両端をノリで貼ります。両手で引っ張り、パチンッと音を出します。

みんな大好きジブリ映画の名曲を、管弦楽アンサンブルの演奏でお届けする「ゼーンぶジブリ!!」。セントラル愛知交響楽団による本格的な演奏ながらも、プログラムは誰もが知るジブリの名曲ばかりなので、ご家族揃って楽しめるニューイヤーコンサートです。でも、ただ聴くだけじゃつまらない!と、企画されたのがコンサート前の「紙カミ大作戦」。名古屋芸術大学アートマネジメントコースの学生たちが、紙を使った簡単な楽器を一緒に作ります。となりのトトロ「さんぽ」で合奏しましょう! ということで、学生たちは「あーでもない、こーでもない」と試行錯誤を繰り返しています。

名古屋芸術大学の  
コラボ企画  
開催

紙カミ大作戦

ジブリ名曲コンサートを盛り上げる!





比田井天来門下四書家の足跡を辿る  
四神の書

9/19(金)@文化フォーラム春日井・ギャラリー



[Report⑥] テキスト=いいさかお

「自分も書いてみたくなる! 現代書展」

現代書の父と称される書家・比田井天来の教えを受け、書の世界に新しい風を吹き込んだ四書家の展覧会『四神の書』。その美しく斬新な書に刺激されました。

以前から心魅かれていた『日本経済新聞』の題字は、上田桑鳩の書だと知り驚きました。黒く塗りつぶした紙に朱墨で書くなど自由な発想も斬新です。線や形を突き詰めて少ない字数で書く手島右卿には、現代的な印象を受けます。紙一面に『いちめんのなのは

な』と豊かで優しい文字を書く金子鷗亭の作品からは癒しを感じ、東宮御所御進講役を拝命された桑原翠邦の書からは品格を感じます。

書のまち春日井ならではの本展は、この地に根付く文化を改めて意識する機会にもなりました。書が生活の中に浸透しているこの街では、美しい字に触れる機会が多いはず。書を習っていた頃を思い出し、年賀状やハガキを丁寧に書きたいと思いました。美しい字を書く人は、心も美しい気がします。

「あめゆじゅとてちてけんじゃ」

声優・桑島法子さんの『朗読夜』の客席は、いつもの様子と一味違いました。若い男性の比率が高かったのです。桑島さんが「どちらから来られましたか?」と客席に問いかけると、遠くは岩手や広島と答える方も!桑島さんが声を演じてきたキャラクターの話でひとしきり盛り上がった後、同郷の作家・宮沢賢治作品の朗読が始まりました。

知っていた作品も初めて聞くものもありましたが、読んだことのある作品も、桑島さんの声とリズムで聴くと、膨らみ

を増し、別世界のようでした。

とりわけ印象に残ったのが、24歳で亡くなった妹トシを詠んだ『永訣の朝』。妹トシの繰り返す「あめゆじゅとてちてけんじゃ」という言葉が、柔らかく心に響いてきます。死の間際、兄に雪を望んだトシ。自分を思うトシの気持ちを理解し、自分たちだけではなく、世のすべての人の幸いに思いを馳せる賢治。この「雨雪を取って来てちょうだい」という岩手の方言には、目が開かれるようでした。



第84回かすがい芸術劇場  
桑島法子 朗読夜  
~ hitorigatari ~

10/12(日)@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール



[Report⑧] テキスト=ますだけい

Q1 どこで情報誌FORUM PRESSを入手されましたか?

[ ]

Q2 今回のFORUM PRESSで、面白いと思ったページに☑を付けてください

- P.1-2 九代林家正蔵 インタビュー
- P.3-4 展覧会「Shinzi Katoh」自作を語る
- P.5-7 茂木大輔による、新シリーズ「徹底解説! この漫画を読み! vol.4 モーツァルト
- P.8 さくらぶんこ×折り紙コミュニケーション / 今月のお客さま
- P.9-10 INFORMATION
- P.11 あの人たちが出会っちゃった! vol.4 日曜シネマ「光にふれる」
- P.12 わたしレポート
- P.13-14 突撃! PiPi提携ショップ「Ho'o pono pono」校歌は地域をうたう vol.13

Q3 あなたが思う「春日井の魅力」を教えてください

[ ]

Q4 今後、FORUM PRESSで取り上げてほしい内容や、ご意見・ご要望をお聞かせください

[ ]

🎁 ご希望のプレゼントに1つ☑を付けてください  
2015/1/16(金)必着

- 「林家正蔵独演会」ペアチケット
- 「大作曲家の大傑作シリーズvol.1 モーツァルト」ペアチケット
- コロナワールド映画鑑賞ペアチケット

FORUM PRESS vol.65 読者アンケート

FORUM PRESS vol.65  
読者アンケート

いつもFORUM PRESSをご愛読いただき、ありがとうございます。  
今後、より読み応えのある誌面づくりをしていくため、参考にさせていただきます。  
アンケートへのご協力をお願いいたします。

回答者プレゼント

抽選で次の1~3のいずれかをプレゼント!!

- ① 林家正蔵独演会  
2/7(土) 14:00~ ペアチケット [2名様]
- ② 大作曲家の大傑作シリーズvol.1 モーツァルト  
3/7(土) 15:00~ ペアチケット [2名様]
- ③ コロナワールド  
映画鑑賞ペアチケット [2名様]

アンケートの応募締切りは、  
2015/1/16(金) (必着)

たくさんのご応募、お待ちしております。

※当選は発送をもって代えさせていただきます  
※当選者への発送は1月下旬の予定です

たとえば自転車で乗っていて、いつもの道を走っている途中、パッと見上げた空に広がる夕焼けが美しく、胸が詰まることがある。思わず泣けてきたりもする。日常の愛しい瞬間に、さりげなく助けられていることは本当に多い。それを感じるのが、人間や生き物の持つ五感(視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚)と心の不思議な営みだ。

彼は目が見えないことで、確かに不自由を強いられている。「何かにつづから歩きたい。普通の生活がしたい」。しかしその一方で「自分の力を試してみたいと思う」という彼には、何か別のものが見えているようなのだ。

そしてもう一つは音。聴覚を頼りにする彼に重なるかのように、この映画の大きな振り所となっている。雑音の多い都会の中で、彼がどのように音を感じているのか。

日常に終わりはなく、小さな事柄に一喜一憂する毎日だ。この映画も同じように終わりのものや事が、ちょっとだけ輝いて見える。それは、私たちが心で感じた光の面影が、音の軌跡が、瑞々しさを残したから。主人公が感じている光は希望でもある。



あの人たちが  
出会っちゃった! だから生まれた!

vol.4

だから生まれた!

テキスト=スタッフ 山川 愛



© 2012 Block 2 Pictures Inc. All rights reserved.

第47回かすがい日曜シネマ「光にふれる」

1/25(日)

①10:15~ ②13:45~ ③16:45~ (開場は15分前)

| 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

[料金] 一般 ¥900(当日¥1,000)、ペア¥1,700(当日¥1,900)

PiPi会員¥800、ペア¥1,500(ともに当日同額)

全自由席、上映時間指定、3才以上有料

[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、

電話予約、春日井市東部市民センター

[監督] チャン・ロンジー [製作総指揮] ウォン・カーウアイ

2012年/台湾・香港・中国 / 110分 / カラー・日本語字幕

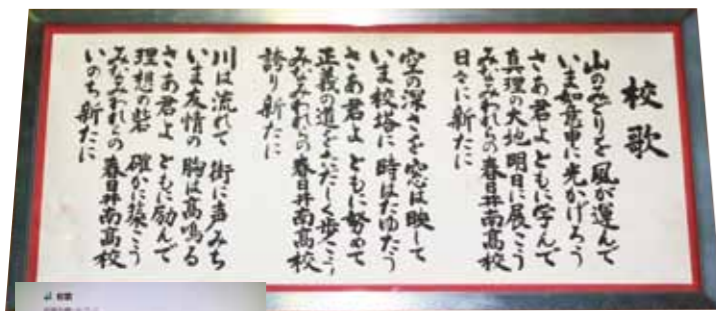
で、誰が出会っちゃったの!?  
運命は面白く、人生は偉い。



右の方。90年代前半に頭角を表し、映画界を席巻した男。1958年上海生まれ、幼い頃、香港へ移住。映画監督ウォン・カーウアイです。94年発表の『恋する惑星』が『キル・ビル』でお馴染みのタランティーン監督に大絶賛され、世界中にセンセーションを巻き起こしました。「クエンティン・タランティーン? 忘れちゃまえ、そんな名前! いまはウォン・カーウアイの時代だ!!」NYヴィレッジ・ヴォイス誌による、この生々しいキャッチコピー。韓国映画の興隆以前、彼の作る香港映画に多くの人々が恋焦がれた時代があったのです。そんなカーウアイが心打たれたのが、若き映画監督チャン・ロンジーの短編作。長編にするよう薦め、『光にふれる』が生まれました。2人の出会いがなければ、私たちもこの映画に出会うことはなかったのですね。

90年代、香港は英国から中国へと返還されました。そんな時代に次々と作品を発表したカーウアイ。政治的なことを描いたわけではありませんが、時代の持つ空気感と濃密な光を、様々な映像的手法を使って描きました。脚本なしで撮影することでも知られる、独自のスタイル。「あの日あの時の場所で、君に会えなかったら〜」という運命をも作品に取り入れたのです。実話を基に描かれた『光にふれる』に共鳴したのも、当然のことだと言えるかもしれません。





**校歌**  
山をどりそ風が運んで  
いまお中元光けりよう  
やあ君よともて字んて  
真理の大地明日に展こう  
みまわれの春日南高校  
日々新たに

HPにアップされている校歌にも、しっかりアドバイスが!

単独で設立された春日井市内の高校としては、最も新しい春日井南高等学校。それもあってか、在校生はじめ先生や卒業生が、「口を揃えて「ノリが良い!」という校歌は、昔からよくある、重いイメージの校歌ではありません。楽譜には、「いきいきしたビートを感じて」という、作曲家・中川弘一郎さんのアドバイスが。さらに「ビートを感じる」というのは、自分の心の動きを感じること。自己を意識し、それがいきいきしていれば、物事に積極的になれる」と記されています。「明るく前向きになれる校歌です」とは高橋教頭。南高校の生徒たちは、素直で明るく、いろんなことに一生懸命取り組む子たちばかりだと、胸を張ります。

**作**

ビートを感じて、積極的に!

**校歌は  
地域を  
うたう**

vol.13

歌詞からヒントを得て、  
“まち”を探訪する  
春日井南高等学校



愛知県立  
春日井南高等学校  
知恵申町3-5-1  
昭和61年4月開校

各学校で歌い継がれる校歌には、その土地の自然や歴史などが歌われています。今回は、春日井市内で一番新しい高校をピックアップ! 歌詞を手掛かりに、春日井という“まち”に迫ります。

**茶華道をマスターし、心も体も美しく!**

南高校では茶道に力を入れています。総合的な学習の時間では、1年生全員がクラスごとに茶道の手ほどきを受けます。その際、茶道の模範を見せるのは、同じ1年生で茶華道部の新入部員。「それはもう、緊張の嵐ですよ!」と笑って言えるのは、現在ではしっかりと作法が身につけている証拠。そんな茶華道部の二人が語る校歌の印象は「曲調がハツラツとしています。歌詞からは、“生涯学び続け、それを誇りに思え”というメッセージを感じますね」とのこと。歌詞を覚えるコツは、「言葉の意味を捉えれば、ストーリーが思い浮かびます。そしたら歌詞もスッと出てきます」。なるほど、納得です!



足のしびれも、なんのその! 茶華道部練習中!



左から、松尾夏帆乃さん、原田新菜さん(2年生)

**校歌を理論的に分析!**

南高校吹奏楽部で活躍し、現在は名古屋芸術大学で学ぶフルート奏者の林里紗さん。今年の十月には「昼コン&夜コン」に登場し、お客様から喝采を浴びました。そんな林さんは「イントロのピアノ伴奏は、楽しげなリズムで引き込まれます。後半に向かうにつれて気持ちが高ぶってくるメロディーなど、感情移入しやすい構成ですね」と演奏者ならではの視点で分析します。



林里紗さん

**吹**



財団スタッフ  
(左から小笠原、後藤、米本)と  
その子供たち

**突撃! PiPi 提携ショップ**

ホオポノポノ  
**Ho'o pono pono**

春日井市知恵申町7-3-3  
TEL.0568-33-6718  
10:30~18:30 木曜定休  
www.h-pono.com  
PiPi会員カード提示で代金の5%引き(クレジットカード不可)



楽しくなれる  
おまじない



店長 川瀬加都俊さん

開業十一年を迎え、地元のみならずWEBショップでも人気の高い、子供服専門店Ho'oponopono。お洒落で良質な衣料品からカワイイ雑貨まで、こだわりのセレクトでリピーターを増やしています。ハワイのおまじないでもある店名は仲良くなるように、楽しくいうよ、という意味。いるだけでワクワクするショップを、子供の話になると目じりが3cm下がる、財団のイクメン三人組(十子供たち)が突撃レポート!



鏡の前で帽子を試着し、ニヤニヤ顔のパパ。「僕は眠いので…ムニヤムニヤ」



実はこの子の服、以前ココで買ったボウダー。「肌触りも吸水性もバツグンだよ!」



入店と同時に一目惚れしたブーツ。「暖かくてかわいくて、私にピッタリね〜!」



Tシャツも種類が豊富。アレとアレをこう合わせてと…



雑貨も各種揃ってます。美味しい食事は食器から!?



お店の中には、子供用の遊べるコーナーも。



大人服も充実。親子一緒に選べます

突撃取材を終えて レポート=スタッフ 後藤友介  
年に5,6回、子供向けイベントを開催され、2013年「昼涼みWS」では、当財団とライブを共同開催したホオポノポノさん。ご自身のお子様にも「良い服を着せてあげたい」と思われたのが、お店を始めたきっかけとのこと。お店もイベントも、川瀬さんが仕掛ける全てに深い愛情を感じます。

「子供にいろいろな事を学ばせる中で、美味しいものを食べさせるのも同様に、良い服を着させるのも大事だと思うんです」そう語る店長の川瀬さんは、国内外に限らず、良いものだけをセレクトし、いわゆるファストファッションとは逆行したお店を営みます。「例えば、子供が二年間着まわった後の雰囲気とかを意識しますね。お下がりでも風合いが良いとか。値段がちょっと高くても、結果的に安く感じてもらえると思います。洋服が好きなお客さんは、大事に着てくれます」時代性も意識しつつ、永く着られる服を揃えるHo'oponopono。その名のとおり、楽しさいっぱいのお店です。

**編集後記**

今回、初めて編集をほぼ一人で行ったFORUM PRESS。いかがでしたか? 僕は毎日がドキドキの連続でした。「どんなコンテンツが面白いか」「読んでもらえる文章とは?」などなど、悩みに悩みを重ねて校了を迎えました。今回行った取材は、プロフェッショナルとしてその名を轟かせる人から、地域を耕す人まで5名。それぞれ1時間にも満たない取材時間でしたが、専門分野の話だけでなく、その人の人生の一端垣間見ることができ、自分の人生も豊かになった気がしました。その実り豊かな時間を、字数の限られた紙面で読者のみなさんにどれだけシェアできるか? これから精進します。(Cgg)

(受取人)  
愛知県春日井市鳥居松町5-44 文化フォーラム春日井  
公益財団法人かすがい市民文化財団  
FORUM PRESS 編集部行



フリガナ	フリガナ	フリガナ
お名前	歳	
ご住所	〒□□□□-□□□□	都道府県 市郡
お電話	会員番号 A	

※マンション・アパート名まで必ずご記入ください。

※友の会 PiPi に入会されている方は会員番号もお書きください。 ※ご記入いただいた個人情報は、当財団が、当財団主催事業のために使用し、それ以外に使用、または第三者に提供することはありません。



- 高蔵寺ニュータウンの団地に沈む夕日。(20代・男性)
- 東京・大阪・名古屋など都会しか来ない有名な俳優・歌手の方を、春日井で観られるのでとても良いことです。(60代・女性)
- 名古屋の隣のローカルな街でありながら、おしゃれな店や美味しそうな店がある。(60代・女性)
- 名古屋へのアクセスが便利な街。(20代・女性)
- 都会に近く便利で、住むには程よく田舎。緑も多く、山もあり、地元に戻るとホッとする。大変落ち着いた街である。(50代・女性)
- 二子山古墳や密蔵院などの、観光スポットが良い。(50代・男性)
- ニュータウンという名のオールドタウンが好きです。機能的でバスの本数も多く、ありがたい街。(30代・男性)
- あなたが思う春日井の魅力を紹介

郵便はがき  
486-8790  
366



友の会PiPiは、こんなにお得!!



- ・一般に先駆けて申込み! ・入場料が1~2割引!
- ・最新情報をご自宅にお届け! 他にもまだまだ特典あり!

レギュラー会員 ¥2,000 / ゴールド会員 ¥3,000 / プラチナ会員 ¥10,000

お電話一本で入会できます! ☎ **0568-85-6078**

かすがい市民文化財団 主催事業 チケットインフォメーション

チケット予約方法

1. インターネット予約

当財団ホームページから「オンラインチケットの予約・購入」をご利用ください。

文化はかすがい  検索

※全席指定公演についてはお好きな座席を選べます(一部公演を除く)。

2. 電話予約

**PiPi会員の方** (受付時間 9:00 ~ 17:00)

PiPi会員専用 先行予約電話

☎ **0568-85-6078**

※会員電話先行予約期間のみ、先行予約を受け付けます。  
※先行予約日が会員期限内であれば先行予約が可能です。また、チケット購入日が会員期限内であれば、割引特典が受けられます。

**一般の方** (受付時間 9:00 ~ 21:30)

☎ **0568-85-6868**

※チケット発売初日のみ、10:00からの受け付けとなります。

チケット受取方法

1. 文化情報プラザで受取り (営業時間 9:00 ~ 19:00)

文化フォーラム春日井2階の文化情報プラザで、チケットを料金とお引換えください。取置き期間は2週間です。

※PiPi会員先行予約チケットの受取りは一般発売日以降になります。

2. 郵送で受取り (代金引換サービス)

郵便局の代金引換サービスで、ご自宅にチケットをお届けいたします。チケットと引換えに郵便局員に指定の代金をお支払いください。

※ご予約後、1週間程度でお届けします。日にち・時間の指定はできません。  
※チケット代金の他に、代金引換手数料として¥500程度が必要です。

チケット一般発売初日の販売開始時間

- [ 9:00~ ] ●文化フォーラム春日井2階・文化情報プラザ / 窓口販売
- [ 10:00~ ] ●かすがい市民文化財団 / 電話・インターネット予約
- チケットぴあ / スポット・電話予約

- コンビニ (サークルK、サンクス、セブンイレブン) での直接購入
- ローソンチケット / 電話予約・ローソン・ミニストップでの直接購入
- セブンチケット / セブンイレブン マルチコピー機での直接購入
- イープラス / ファミリーマート ファミポートでの直接購入

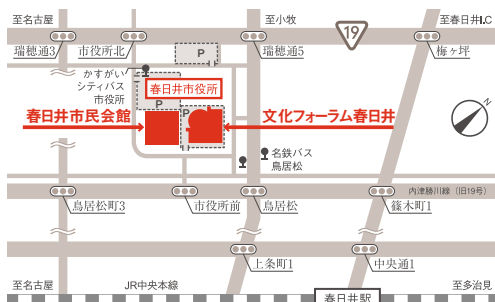
※前売発売の場合、当日券はありません。 ※記載価格は税込です。  
※予約済チケットや購入済チケットのキャンセル・払戻しはできません。

文化フォーラム春日井 / 春日井市民会館

www.kasugai-bunka.jp

follow us @kasugai\_bunka

486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44 [休館日] 月曜日 (祝休日の場合は翌平日)



交通のご案内

JR中央本線「春日井駅」北口より  
・名鉄バス「鳥居松」下車すぐ  
・徒歩 20分  
・無料レンタサイクル 5分 (日・祝休み)  
かすがいシティバスでお越しの方  
・「市役所」下車すぐ

※駐車場は混雑が予想されます。なるべく公共交通機関や乗合せをご利用ください。

和響普及企画2015  
KASUGAI FUJI DAIKO  
春日井不二太鼓

春風  
スペシャルコンサート  
Special Concert

和太鼓奏者 山川慎平

太鼓は叩くのではない  
“身体で打つ” “心で打つ”  
日本古来の伝統文化を忘れてはいけない……。太鼓を通して、子どもたちに日本人らしい純粋な思いやりと優しさを伝える。和太鼓集団・春日井不二太鼓。太鼓祭 in とよた西日本一決定戦で優勝経験を持つ彼らが、ド迫力の演奏を披露します!

篠笛奏者 佐藤和哉

〈特別出演〉和太鼓奏者 吟遊打人 塩原良

〈友情出演〉輪太鼓打友 ~ DAYU ~ 津軽三味線奏者 鈴木臣吾

平成27年  
2月1日(日) 13:00 ~  
春日井市民会館  
大人 3,000円  
小人 2,000円 (中学生以下)

文化フォーラム春日井・文化情報プラザにて好評発売中!

主催: 春日井不二太鼓・和響普及プロジェクト  
問合せ: 和響普及プロジェクト TEL.0568-51-5518

若手 No.1 マジシャン田中大貴が  
新作イリュージョンを披露!

ILLUSIONIST  
DAIKI  
7th Anniversary  
LIVE  
追加公演決定

2015.  
2/15 (日) 16:00 ~  
春日井市民会館  
大人: 3,500円  
小人(3歳~中学生): 2,500円  
※当日 500円増、乳幼児可  
好評発売中

チケット販売: 文化フォーラム春日井2F・文化情報プラザ または 下記 問い合わせまで  
【問い合わせ】 Magic of Illusion - Daiki TEL: 052-462-9968

文化フォーラム春日井に  
本格的な和室がある事をご存知ですか?

〈例〉昼から茶会を開催  
和室B (茶室) 1,000円 (水屋・茶道具含む)  
※控室に和室A (10畳) 900円も利用可

【問合せ】  
かすがい市民文化財団  
tel. 0568-85-6868  
9:00-21:30 (月休・祝休日の場合は翌平日)